

～環境月間の取組～ 「セブンの海の森づくり」 活動報告

水質を浄化しCO2を吸収するアマモを増やし、豊かな海を再生する「海の森づくり」に取り組んでいます。

海洋生物によるCO2の吸着、固定化は「ブルーカーボン」と呼ばれ、地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めると言われています。温室効果ガス削減に寄与するため、2011年よりセブン-イレブン加盟店や本部社員が参加する「東京湾UMIプロジェクト」に取り組んできました。

今年初めて大阪湾でも「海の森づくり」を開始、環境月間の取組として、6月2日に海の生物調査と海岸清掃を行いました。



セブン-イレブン記念財団
次長 松井 敬司

セブンの海の森づくり 実施状況

名称	累計活動回数	場所	実施日	活動内容	参加数(人)
阪南セブンの海の森	初	大阪府阪南市	6/2(土)	海岸清掃	117
東京湾UMIプロジェクト	10	神奈川県横浜海の公園	6/16(土)	アマモ花枝採取	50

活動状況

【阪南セブンの海の森 海の生物調査と海岸清掃】



地曳網を引いて海の生物を観察



海岸清掃で回収したゴミの山



【東京湾UMIプロジェクト アマモの花枝採取】



アマモの状況、活動主旨・内容 説明



海中のアマモ



アマモ採取と地曳網による生物観察



地域の皆さま、海洋研究者、NPO、行政、セブン-イレブン加盟店、地域ごとに関係者が協力しあって「豊かな海の再生」に取り組んでまいります。

関連情報

・セブン-イレブン記念財団ホームページ 東京湾UMIプロジェクトホームページ

<http://www.7midori.org/>

http://www.7midori.org/katsudo/prevent_warming/tokyo_amamo/index.html